

# 支払手形 60日に短縮

## 資材企業の資金繰り支援

六興電気は、資材を提供する企業に対する支払手形の期日を、現行の120日から「60日」に短縮する。2月の支払いから適用する予定で、

金利分や手形割引の支出を抑えるとともに、取引企業に対する資金繰りの支援などにもつなげる。同社では、取引企業からの信頼性を高めること

で、資材の安定供給やコストダウンも目指したい考え。工事を円滑に進め、利益率を高める上でも協力会社などとの連携が不可欠になる中、連携

強化の1つの方法になりそうだ。

同社は10万円を超える取引で手形を活用している。手形の期日は90日や120日が一般的で、60日の短縮は同業他社でも事例が少ないとみられる。同社には約80億円のキャッシュフローがあり、その活用を模索していた。株式や不動産への投資ではリスクが発生する側面もあると判断、取引企業に還元することにした。2014年9月期の決算

でも増収増益の状況を踏まえ、資金的に余裕のあるタイミングでもあることから短縮に踏み切る。

「この間取引企業にも助けてもらった場面も多い」（同社）と、取引企業との関係強化の方策も見据えている。より短い期間でキャッシュが動くことで同社への信頼性も高まるとみられ、提供してもらう資材のコストダウンや物量がひっ迫した際の融通などにつながる可能性もある。

